



たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和7年9月1日(月)
担当課	教育事業部歴史文化財課 (室津海駅館)
電話	0791-63-0907

報道機関各位

市制施行20周年記念 令和7年度 室津海駅館特別展「本陣・薩摩屋と室津の年中行事」を開催

参勤交代の制度が定められた江戸時代、海の宿駅として栄えた室津には、最大で6軒もの本陣が置かれました。そのうちの薩摩屋(高島家)に「歳中雑記」という冊子が伝わっています。

この冊子は、薩摩屋で一年間におこなう行事を記録したもので、端午の節供や七夕祭りなど、現代の我々にとっても馴染み深い行事から、八朔の雛祭りなど室津ならではの行事まで、数十項目にわたって記されています。江戸時代の室津の年中行事について知ることができる、数少ない資料です。

本展覧会では、「歳中雑記」に記載された行事を中心に、室津の年中行事について、関連する民具や祭具、古文書などの資料を用いて解説します。

記

- 開催期間 令和7年10月4日(土)～11月30日(日)
9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 開催場所 たつの市立室津海駅館(たつの市御津町室津457)
- 休館日 月曜日(10月13日・11月3日・24日を除く)
10月14日(火)・15日(水)
11月4日(火)・5日(水)・25日(火)・26日(水)
- 入館料 高校生以上200円/小・中学生100円
※11月8日(土)・9日(日)は「関西文化の日」のため入館料無料
※「ひょうごっ子ココロカード」提示で入館料無料
※たつの市内の小・中学生は入館無料
- 展示構成 (1) 薩摩屋の暮らし
古文書・生活道具類から、薩摩屋の暮らしと生業について紹介
★親族の家に伝わった薩摩屋の生活道具類を初公開
★高島家文書より、初公開の古文書を多数展示

(2) 薩摩屋の年中行事
正月、節供、盆など、薩摩屋の年中行事について紹介
★八朔の雛祭りについて記した「歳中雑記」を初公開

- ★ 端午の節供に立てた高さ約 10m の鐘馗^{しょうきのぼり}幟（民俗館蔵）を公開
- (3) 室津の祭りと賀茂神社
小五月祭や夏越祭について、薩摩屋のかかわりも含めて紹介
★ 賀茂神社に伝わる古い獅子頭を公開

- (4) 記憶のなかの年中行事
今日では見られなくなった、正月飾りのハツ、盆踊りなどを紹介
★ 正月飾りのハツや七夕の飾りつけを再現

6 関連行事

(1) 記念講演会

演 題 年中行事の構造
講 師 田村 三千夫さん（太子町立歴史資料館 専門員）
日 時 11月2日（日）14時～15時30分
定 員 30名（先着順）

(2) ギャラリートーク

内 容 担当学芸員による展示解説
日 時 10月4日（土）・11月8日（土）いずれも14時～15時
定 員 各回15名（先着順）

(3) 関西北前船研究交流セミナー

内 容 大手前大学国際日本学部の学生による室津をテーマにした
ミュージアムトーク
日 時 11月9日（日）14時～15時30分
※室津ふるさとまつりに合わせて開催
定 員 30名（当日受付）

※いずれも参加費無料（ただし入館料が必要）

※（1）（2）は室津海駅館窓口、電話又は電子申請で申し込みが必要

本陣・薩摩屋と 室津の年中行事

正月

借付し盆の出
先々人法要の一統、
これして盆の神



元旦祝 吉村廣夫氏撮影

骨正月

柘榴

六月節
水俣屋

薩摩屋

七月節
七月一日
五月節
五月一日



夏越祭(住吉祭)の獅子舞

二月節

七五三

七夕節
梅老細の歌



七夕祭の供え物

甲辰節

厚敷祭

金ノ子

墓掃除

雛祭り
弟粉と朝霞

七五三



八朔の雛祭りのシニコ細工

2025

10/4 [土] - 11/30 [日]

関連行事

① 記念講演会

演題：年中行事の構造
日時：11月2日(日) 14:00 ~ 15:30
講師：田村 三千夫 氏 (太子町立歴史資料館 専門員)
定員：30名 (先着順)

② ギャラリートーク

日時：10月4日(土)、11月8日(土)
いずれも14:00 ~ 15:00
内容：担当学芸員による展示解説
定員：各回15名 (先着順)

①・② 共通事項

参加費：無料 (ただし入館料が必要)
参加申込：海駅館窓口・電話・電子申請でお申し込み

電子申請



開館時間：9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日：月曜日 (ただし祝日をのぞく)

10月14日・15日、11月4日・5日・25日・26日

入館料：高校生以上200円、小・中学生100円

民俗館との共通券 高校生以上300円

小・中学生150円

※ 20名以上のご来館で2割引

※ たつの市内の小・中学生は無料

※ 11月8日・9日は関西文化の日のため無料

たつの市立 室津海駅館

〒671-1332 兵庫県たつの市御津町室津457

TEL: 079-324-0595

E-Mail: kaiekikan@city.tatsuno.lg.jp



江

戸時代、海の宿駅として栄えた室津には、最大時で六軒もの本陣が置かれていました。

そのうちの薩摩屋（高島家）には、約一、二〇〇点の古文書が伝わっています。

そのうちの「歳中雑記」という冊子には、文政二年（一八二九）に薩摩屋で行われた年中行事が、詳細に記録されています。

そのなかには、正月・お盆・七夕祭りなど、現代の私たちにも馴染み深い年中行事をはじめ、八朔のひな祭りなど室津ならではの行事も記録されています。

本特別展では、「歳中雑記」に登場する年中行事を中心に、室津の年中行事について、関連する古文書や民具・祭具などもあわせて紹介します。



歳中雑記 文政12年（1829）高島家文書

背景写真：昭和46年（1971）ごろの薩摩屋

薩摩屋の暮らしを現代に伝える
古文書や生活道具類



薩摩屋の生活道具 龍野歴史文化資料館蔵



鐘馗の幟（部分）室津民俗館蔵

魔除けの鐘馗が描かれた、
高さ約一〇メートルの大幟



正月の「ハツ」に吊るした飾り 個人蔵

近年には見かける機会も減った
室津や播磨の四季の風物詩を紹介



交通のご案内▼



ホーオーエンヤ
ホーランエ

